

**第39回 国立市健康危機管理対策本部会議記録**

日時	令和4年11月4日（金）11時00分から11時30分
場所	市役所2階 市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎製作経営部長、藤崎行政管理部長、馬橋子ども家庭部参事、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、北村都市整備部長、中島基盤整備担当部長、橋本教育部長、内藤議会事務局長、林会計管理者、玉江選挙管理委員会事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、菅野監査委員事務局長
付議事項	<p>(1) 都の方針の共有について</p> <p>①東京都の状況（資料No.1～8）</p> <p>②市内の状況</p> <p>(2) 自宅療養支援室の対応について</p> <p>(3) 市の対処方針について</p> <p>①東京都陽性者登録センターについて</p> <p>②ワクチン接種について</p> <p>③職員の就業状況対応について</p> <p>(4) 国立市医師会会長のコメント</p> <p>(5) その他</p> <p>①消防機関からの情報</p>
主な内容	<p>(進行：大川健康福祉部長)</p>
1 議 題	<p>(1) 都内・市内の状況について（橋本健康まちづくり戦略室長）</p> <p>①都内の状況(資料No.1～8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値は前回と比較すると、新規陽性者数と陽性率は横ばいであるが、入院患者数及び重症患者数は上昇傾向にある。感染状況の推移に注意が必要と分析されている。</li> <li>・ 新規陽性者数は、2週間ほどで増加傾向に転じ、11/3時点で、12日連続で前の週の同じ曜日より増加している。</li> </ul> <p>②市内の状況</p> <p>全数届から4類型のリスクのある人のみの報告に移行し、10月の市内感染者数は115件である。</p> <p>(2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>相談件数は、5件という日もあるが、2件/日ほどで落ち着いており、配送も委託業者によりスムーズに実施できている。60～70代の陽性者については、自宅療養がメインとなっているようだ。</p> <p>(3) 市の対処方針について</p> <p>①東京都陽性者登録センターについて（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生届が必要でない若年層の陽性者については、登録センターへ登録することで、市の方に情報が上がってくるが、少ないため、周知が必要である。。</li> </ul> <p>②ワクチン接種について（黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/4からBA5対応型のワクチンが体育館地下で始まった。</li> <li>・ 400人/日の用意があり、高齢者の5回目接種はいいペースで接種されているが、現役世代の接種（4回目）は少なめである。</li> <li>・ 乳児の接種は数%という状況である。</li> </ul> <p>③職員の就業状況対応について（藤崎行政管理部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 換気、手指の消毒など感染症対策を改めて徹底するよう継続して通知する。</li> </ul>

(4) 国立市医師会会長のコメント

- ・普通の風邪の流行がみられる中で、コロナの陽性者も増加傾向にある印象である。
- ・ワクチン接種の感覚が短縮され、予約増加もみられる。
- ・インフルエンザとの同時流行に備えておきたい。

(5) その他

①消防からの情報（消防吏員）

立川消防署管内においては、9月以降の搬送困難事案は発生していない。

2 本部長指示及び対応方針について（永見市長）

落ち着いている今のうちに体を休め、次の8波に備えた体制を考えてほしい。

以上